

『法苑珠林』道光七年常熟燕園蔣氏刊本について

稻垣淳央

一 はじめに

唐・道世撰『法苑珠林』の版本は数多いが、そのうちの一本に清・道光七年（一八二七）常熟燕園蔣氏刊本（以下「蔣氏刊本」とする）がある。蔣氏刊本が刊行されたいきさつは、刊行者で山東齊河縣知縣であった蔣因培の妾、董妹による後記に次の記述があることによつて知られる。¹

道光辛巳九月、燕園主人以事遣戍、發願刻經一部、默求佛力弘護、及早賜環。

（道光元年（一八一）九月、燕園主人（蔣因培）が邊境の護衛に派遣されるに當たり、『法苑珠林』一部の刻經を發願し、それによつて佛の力による弘い加護と、早期に召還されんことを靜かに求める）

蔣因培が邊境の護衛に派遣される時に、董妹の發願によつて刻されたものであることが分かる。また同じ後記に、

普告閨閣諸大家、共襄是舉。

（廣く婦人の諸大家に知らしめ、この事業を行うことに贊同を得た）

とあり、董妹が多くの婦人たちに贊同・出資を呼びかけたことが分かる。² 實際の出資者は蔣氏刊本の各卷末にその名が記されている。

さて、蔣氏刊本は諸版本の中でやや特異な位置を占める。

『法苑珠林』は全百巻であったものを、嘉興藏に至って體裁を全百二十巻へと改めたのである。その際、増補や削減は行わず過不足こそ生じていないが、巻の區切り方を崩したために閲讀に不便が生じた。以上のことは既に陳垣が『中國佛教史籍概論』において指摘している。また我が國の黄檗版鐵眼一切經や寛文年間刊本など、嘉興藏を底本とする本は當然のことながら、嘉興藏を踏襲して百二十巻である。蔣氏刊本はこれを再び百巻に戻したのである。

二〇〇三年に『法苑珠林校注』（周叔迦・蘇晉仁校注、中華書局）が刊行されたが、この『校注』が底本としているのが蔣氏刊本である。この『校注』の刊行によって、蔣氏刊本の本文のおよその様相に關しては、現物に當たらずとも容易に知ることが出来るようになった。しかし、以下の點で注意を要する。

(一) 他本に據って適宜文字を改めている。改めた箇所は校勘記に示されている。

(二) 蔣氏刊本は清代の皇帝の諱を避けて替わりに別字や異體字を使用しており、當該の文字は○で圍まれている。

例えば「玄」字が「元」字に、「弘」字が「宏」字に改められている³。また道光帝の諱・旻寧を避け、「寧」字は異體字が用いられている。『校注』はこれらを全て本來の文字に改めているが、校勘記にはその旨を記していない。

(三) 各巻末に付されている音釋が省かれている。さらに音釋の後に刊記があり、出資者の姓名が一人ずつ示されているが、むろんこれも収録されていない。

本稿ではまず蔣氏刊本の性格・特徴を整理したうえで、系統が近いと考えられる版本と音釋の部分を比較し、歴代大藏經所收本など『法苑珠林』諸版本の系統の中に蔣氏刊本を位置づけることを試みることにする。

二 蔣氏刊本の體裁

『法苑珠林』はもと百巻であったものを明・嘉興藏が百二十巻に改めて以來、百二十巻本が通行していた。上述のご

とく、蔣氏刊本はこれを再度百巻に改め、舊觀の復元を試みている。呂琴姜の「重刊法苑珠林序」には、

世所行舊槧本、曾經明人竄改、妄析爲百二十巻、全與新書藝文志著錄百巻不符、以致簡葉違錯、章段崩離、字句之間、亦多脫誤。

(世に行われている舊來の版本は明代の人の改竄を経たもので、妄りに百二十巻に分けられており、すべて『新唐書』『藝文志』が著録する百巻という記載と符合しない。これによって葉數に錯誤が生じ、章・段は崩れ、字句の中にもまた脱誤が多くなっている)

とあり、また董妹の後記にも、

至刊正訛誤、則悉依釋藏、庶復唐宋百巻之舊觀云。

(刊行に際して誤謬を正そうとしたので、すべて釋藏に依ることとし、唐宋期の百巻の舊觀を復元したいと望んだ)と見える。陳垣はこの改編について『中國佛教史籍概論』において、

道光七年、常熟蔣氏回復爲百巻、最爲有識。

(道光七年に常熟の蔣氏が元の狀態に復して百巻としたのは、最も見識のあるところである)

と評している。ところが【別表】をご参照いただければ明らかのように、乾隆大藏經(龍藏)所收の『法苑珠林』もまた全百巻となっている。乾隆藏は乾隆三年(一七三八)に完成しており、道光七年(一八二七)刊の蔣氏刊本よりもおよそ九十年先行する。この乾隆藏本の『法苑珠林』については、陳垣も『中國佛教史籍概論』において觸れるところがない。蔣氏らが乾隆藏を目睹することがなかったとしても、陳垣までが乾隆藏本の『法苑珠林』を見ていないとすれば些か信じがたいが、とにもかくにも乾隆藏は百巻で構成されている。

上述のごとく、蔣氏刊本には底本およびその系統に不明瞭な點が數多く残されているといえる。内題に「道光丁亥歲釋藏本重刊」とあることと、また先に引いた董妹の後記の記載より見て、蔣氏刊本がいずれかの大藏經を底本としてい

ることは疑い得ない。しかしながら蔣氏刊本は乾隆藏本を底本としたとも考えにくい。その理由を次節以下で述べる。

三 外観的特徴

筆者は今回、財團法人東洋文庫が所藏する蔣氏刊本を閲覽することが出来た。また部分的複寫もご許可いただいたので、音釋および刊記の部分については全て複寫した。便宜を圖って下さった東洋文庫の関係者の方々にはこの場を借りて厚く御禮申し上げます。

時間的制約もあり全てを精査することは到底適わなかったが、目睹して知り得た限りでの外見的特徴を記すと、以下のようである。

(一) 〈寸法等〉縦約二四五ミリメートル、横約一五八ミリメートル。三十二冊。

(二) 〈内題〉表紙に續いて「法苑珠林一百卷 道光丁亥歲釋藏本重刊」とある。

(三) 〈刊記〉毎卷末、音釋の後にすぐ續けて出資者が一名ずつ記載される。たとえば卷一の末に「前山東齊河縣知縣常熟蔣因培妻吳氏出資重刻」とある如くである。先に述べたように、ここに記された出資者はいずれも女性である。同一人物の名が複数の巻に重複して記載されることはない。例えば卷二、卷三はそれぞれ「——蔣因培妾董妹出資重刻」「——蔣因培妾陳昭出資重刻」といった類である。

(四) 全體を通覽すると、印刷不良によって判讀不能になっている葉がかなり目に付く。特に後半に多いように見受けられる。ただしこれは東洋文庫所藏本に固有の特徴である可能性もあるが、いまは判断し得ない。とはいえ、印刷品質が高くないことは確かであるといえよう。

四 「釋道泰」逸話について

本稿に付した【別表】は、歴代大藏經所收のものなど、『法苑珠林』の諸本における、『冥祥記』佚文である各逸話が掲載されている箇所を示したものである。⁴『冥祥記』のテキストを比較する上で便を圖るため、各版本（主として閲覧や入手の容易な洋装影印本を用いた）における収録頁、段等を記載したものであるが、版本間の異同や關聯諸書との關係を考察する上でも参考に供し得るものとなっている。詳しくは【別表】の凡例を参照されたい。

たとえば卷十七に「釋道泰」があるが、この表を左から右に逐って見てゆくと、正正藏本までは所在位置を記載しているが、乾隆藏本、蔣氏刊本、『法苑珠林校注』、四部叢刊本、および寛文五年和刻本は空欄である。これはこれらの諸本には「釋道泰」が収録されていないことを示している。勝村哲也氏は「釋道泰」の說話を脱するのは明北藏本に始らしいことがわかった⁵。という。この表によっても明・洪武南藏までは「釋道泰」を備えているが、⁶四部叢刊本（嘉興藏本）、清代の乾隆藏、蔣氏刊本は「釋道泰」が脱落している様子を見て取ることができよう。⁷

五 音釋の比較

蔣氏刊本には各卷末に音釋が付されている。これらの音釋は乾隆藏や嘉興藏に付されているものとはほぼ同じものであり、祖本が同一であることは明らかである。⁸ただし細かい異同があるので、それらを少しく挙げてみたい。

まず蔣氏刊本の音釋が刊行時に新たに付されたものではなく、他本から轉記したものであることは、卷五十八の末尾に「音釋缺」とあることよって分かる。この箇所は乾隆藏でも音釋がなく、空欄になっている。つぎに嘉興藏であるが、嘉興藏は上述の如く、もと百卷であったものを百二十卷に改めている。百卷本の卷五十八は謀謗篇第六十七、述意部第一から避譏部第四までであるが、百二十卷本の嘉興藏では卷七十二の後半に相當する。そこで卷七十二の音釋を見ると、ちょうど百卷本の卷五十八に相當する部分に對應する音釋が缺けていることが分かる。このことから、嘉興藏に付されている音釋もまた、嘉興藏が百二十卷に改めて刊行されるよりも以前に付されたものと考えられる。

次に蔣氏刊本の、音釋をも含めた本文であるが、これは字形の類似等による誤刻がかなり目につく。『法苑珠林校注』の校勘記を見ても、嘉興藏との異同を示している箇所は字形の類似による誤刻と推測されるものが多く見受けられる。音釋部分から例を二、三挙げるならば、このようなものである。なお〔括弧〕内に示した巻数は百巻本のものである。また四部叢刊本の底本は嘉興藏である。

(a) 嵐(盧舎切)〔蔣氏刊本〕(卷四)

嵐(盧舎切)〔四部叢刊本、乾隆藏本〕

(b) 旬(堂練切、自邦國及四郊之内曰旬)〔蔣氏刊本〕(卷一)

旬(堂練切、自邦國及四郊之内曰旬)〔四部叢刊本、乾隆藏本〕

ただし(b)のケースでは、「練」「線」はともに平水韻では「霰」去聲であり、蔣氏刊本も誤りとはいえない。或いは誤字ではなく、意を以て改めたのかも知れない。いずれにせよ、蔣氏刊本が四部叢刊本、乾隆藏本と異なっているのは確かである。

(c) 鶯(莫卜切、野鴨也)〔四部叢刊本、蔣氏刊本〕(卷六)

鶯(莫小切、野鴨也)〔乾隆藏本〕

(c)のケースでは蔣氏刊本は四部叢刊本に完全に一致し、乾隆藏本のみが誤刻である。蔣氏刊本が刊行時に乾隆藏本の誤りを正したと考えることも不可能ではないが、乾隆藏本は底本ではないと考える方が自然であろう。

(d) 滓(側氏切、濁也)〔蔣氏刊本、乾隆藏本〕(卷四)

滓(壯里切)〔四部叢刊本〕

四部叢刊本(嘉興藏本)、蔣氏刊本、乾隆藏本の三者の音釋がほぼ同じものであることを先に指摘したが、「滓」字に異なる反切が與えられている。「壯里切」は『文選』卷十八(音楽下)所收、馬季長「長笛賦」に對する李注に見えている。

いっぽう「側氏切」は『五音集韻』巻七・上聲第五「旨」に見えている。とりあえず兩者とも誤りではないようである。(C)のケースから蔣氏刊本は乾隆藏本を底本としたのではないとすると、蔣氏刊本と乾隆藏本にはそれぞれ同一もしくは異なる底本が存在することになるが、この例を見る限り、いずれも嘉興藏本を底本としていないと考えられる。そもそも蔣氏刊本、乾隆藏本はいずれも百二十巻を百巻に改めたのであるが、これは百巻の版本を備え、それに依って初めて可能なことである。分巻のみ百巻本に依り、本文は嘉興藏本に依ったというのも不自然である。次のような複雑なケースも存在する。

- (e) 潰 (胡對切、壞爛也) 溺 (奴弔切、溲便也) 猜 (倉才切、測也) 甦 (桑姑切、死而復生也) 恰 (乞洽切、帽也) 榜撻 (榜蒲耕切、撻他達切、榜撻捶擊也)〔蔣氏刊本〕(卷五)
- 潰 (胡對切、壞爛也) 恰 (乞洽切、帽也) 猜 (倉才切、測也) 甦 (桑姑切、死而復生也) 榜撻 (榜蒲耕切、撻他達切、榜撻捶擊也)〔乾龍藏本〕
- 蒲耕切、撻他達切、榜撻捶擊也)〔四部叢刊本〕

このように、「潰」と「榜撻」との間の部分に「溺」「猜」「甦」「恰」の四字が掲出されているのだが、四部叢刊本(嘉興藏)は「溺」が、乾龍藏本は「恰」字がない。また順序も、「恰」字の位置などでやや異なる。

この音釋は六道篇・諸天部の感應緣部分の前文と最初の「史世光」の部分に出現する語に與えられたもので、實際の出現順は「溺」「恰」「猜」「甦」の順で、その少し後にもう一度「恰」字が現れる。¹⁰いま順序が入れ替わっている點は措くとしても、この三者の内では上記の四字とも収めている點で蔣氏刊本が優れているともいえよう。しかし全く問題が存在しないわけではない。四部叢刊本や乾龍藏本での「甦」字の部分が、『法苑珠林校注』では「醒」字に作っている。¹¹もしこれが底本である蔣氏刊本のままであるとするならば、本文に見えない文字が音釋に掲載されていることになる。¹²

陳垣の言うように百卷の古い形態を復元した価値は認めるとしても、こと本文に關しては、決して質の良いものとは思われない。

六 結 論

以上述べて来た諸點を整理すると次のようになる。

- (一) 蔣氏刊本は印刷の状態や誤刻の多さという點を取り出すと、質の高い版本とはいえない。
- (二) 蔣氏刊本は「釋道泰」を脱していることや、音釋がほぼ一致することから、嘉興藏、乾隆藏と同じく明・北藏の系統に屬すると考えられる。
- (三) 嘉興藏は百卷を百二十卷に改めたが、音釋は先行する百卷の版本（明・北藏系統）から轉載したものである。
- (四) 嘉興藏と蔣氏刊本が一致し、かつ乾隆藏本のみが誤っている箇所が存することや、魯迅や陳垣ですら見ていない可能性が高いなど、乾隆藏が廣く流布した形跡の見られない状況を考え合わせても、蔣氏刊本が乾隆藏を直接底本とした可能性は低い。
- (五) 乾隆藏、蔣氏刊本は、いずれも嘉興藏を直接の底本としたとは考えにくい。

今回、明・北藏本をはじめとする他の版本と比較し得なかつたこともあり、蔣氏刊本の底本は未だ詳らかでない。しかしながら、上記の點を綜合すると、蔣氏刊本は、北藏系統に屬する諸版本のうち、嘉興藏・乾隆藏以外の一本を直接の底本とした可能性が高いといえるだろう。今後、北藏本や北藏系統の諸版本と更に比較されることによって、蔣氏刊本の底本も一層明らかになる可能性があるだろう。

- 1 句讀點は、『法苑珠林校注』（周叔迦・蘇晉仁校注、中華書局、二〇〇三）による。以下同じ。ただし音釋部分の引用の句讀點は筆者が付したものである。
- 2 蔣氏刊本の各卷末に記された出資者がいずれも婦人であることに關して、陳垣は『中國佛教史籍概論』において、「閩闍本」と呼ぶべきものである、と記している。
- 3 乾隆藏では「玄」字、「弘」字はいずれも末畫を闕筆としている。なおそれぞれ康熙帝の諱・文燁、乾隆帝の諱・弘曆の避諱である。
- 4 『法苑珠林』における『冥祥記』佚文に關しては、勝村哲也「六朝隋唐の稗史・小説の整理に關する覺書——佛教説話とくに冥祥記を中心として」（『惠谷先生古稀記念 淨土教の思想と文化』、惠谷隆戒先生古稀記念會、佛教大學、一九七二）を參照。
- 5 「魯迅所見書考（上）」（『鷹陵』四三、佛教大學通信教育部、一九七二）、一七頁。
- 6 南藏については、野澤佳美「明代大藏經史の研究——南藏の歴史學的基礎研究——」（汲古書院、一九九八）に詳細な研究がある。
- 7 魯迅輯『古小説鈎沈』所收『冥祥記』にも「釋道泰」をも收録している。本研究の譯註篇は高麗藏本『法苑珠林』を底本としているので、「釋道泰」をも收録している。
なお勝村氏の推定によれば、魯迅も『古小説鈎沈』を編纂する際に嘉興藏本を見ているが、乾隆藏本は見えていなかったとのことである。注5所掲論文を參照。現在は乾隆藏の影印本が出版されているが、乾隆藏は或いは從來一般には觸れる機會の少ないものであったのかも知れない。
- 8 たとえば磧砂藏本にも各卷末に音釋が附されているが、これは蔣氏刊本や乾隆藏とは異なるものである。
- 9 一例を挙げれば、卷三、『法苑珠林校注』九三頁「三」、「檐」字原作「擔」、據高麗本、磧砂藏本、南藏本、嘉興藏本改。
とあるのなどがこれに當たる。
- 10 ただし一度目の「恰」は高麗藏本等では「恰」に作る。詳細は譯註篇の「史世光」を參照されたい。
- 11 「甦」字の部分は高麗藏、大正藏では「蘇」字である。『法苑珠林校注』は高麗藏も嘉興藏も對校に用いているはずであるのに、この文字には校勘が付けられていない。
- 12 底本の蔣氏刊本もやはり「醒」と作っているのかどうか、直ちに確認できないのが悔やまれる。今後の調査を俟ちたい。

【別表】『冥祥記』諸本収録頁一覽表 凡例

本表は『法苑珠林』諸版本中の「感應緣」部分において、出典が『冥祥記』として掲載されている逸話の所在を示すものである。檢索の便を圖るため、各版本ごとに、影印本など閲覽しやすい本が存在する場合はそれらを中心として選擇し、収録されている頁・段等を記載した。

逸話のうち網かけになっているものは、出典が『冥祥記』とされているものの魯迅が『冥祥記』の佚文ではないと判斷して『古小説鈞沈』から除外したものである。莊司格一「冥祥記について」（『集刊東洋學』第二十二號、中國文史哲研究會、一九六九）および勝村哲也「六朝隋唐の稗史・小説の整理に關する覺書——佛教説話とくに冥祥記を中心に——」（『惠谷先生古稀記念 淨土教の思想と文化』、惠谷隆戒先生古稀記念會、佛教大學、一九七二）參照。ただし兩氏の見解は大きく異なるので注意が必要である。

掲載した具體的な項目は以下の通りである。

一、『冥祥記』

主として『古小説鈞沈』に依る。「番號」は『古小説鈞沈』中の出現順。採録したのは以下の通り。

- a. 人民文學出版社版『古小説鈞沈』（一九五一）
- b. 『中國古典文學大系六〇 佛教文學集』（平凡社、一九七五）所收、安藤智信譯
- c. 王國良「冥祥記研究」（文史哲出版社、一九九九）所收「下編 校釋」

二、『法苑珠林』

左端の二種の通し番號は、左が『法苑珠林』所收の逸話で『古小説鈞沈』に採録されているものに、『法苑珠林』中における順序で番號を與えたものである。右は魯迅が『古小説鈞沈』に採録しなかったものも含めた番號になっている。

篇・部に續き、百卷本と百二十卷本とに分け、各版本における頁、段もしくは葉等を記載している。積砂藏など複数の出版社から出版されているものは（括弧）内に記載されているものを使用していることに注意されたい。

採録したのは以下の通り。

〔百卷本系〕

- d. 『大正新脩大藏經』第五十三卷（大正新脩大藏經刊行會、大藏出版）
- e. 『高麗大藏經』第三十九卷（東國大學校）

- f. 『中華大藏經』第七十一・七十二冊（中華大藏經編輯局、中華書局）
 - g. 『宋版磧砂大藏經』第三十一・三十二冊（延聖院大藏經局編、新文豐出版）
 - h. 『洪武南藏』第一七四～一七八冊（四川省佛教協會）
 - g-1. 『正藏經』第二十八套・第四～十冊（藏經書院）
 - g-2. 『正藏經』第五十三・五十四冊（藏經書院編、新文豐出版）
 - h. 『乾隆大藏經』第一二三～一二五冊（新文豐出版）
 - i. 道光七年常熟燕園蔣氏刊本
 - j. 『法苑珠林校注』（周叔迦・蘇晉仁校注、中華書局）
- 〔百二十卷本系〕
- k. 『四部叢刊初編縮本』（精裝本）第二十九・三十冊（臺灣商務印書館）
 - l. 寛文五年和刻本
- 三、關聯諸書
- 『冥祥記』の成立と關聯が深いと思われる『觀世音應驗記』、『法苑珠林』に取材している部分のある『集神州三寶感通錄』および『太平廣記』、『冥祥記』佚文を含む『辯正論』の該當箇所を示す。
- 『觀世音應驗記』の種別を示す記號はそれぞれ、「光」は『光世音應驗記』を、「繫」は『繫觀世音應驗記』を、「續」は『續觀世音應驗記』を意味する。
- 採録したのは以下の通り。
- m. 『觀世音應驗記三種』譯注（董志翹著、江蘇古籍出版社、二〇〇二）
 - n. 『觀世音應驗記（三種）』（孫昌武點校、中華書局、一九九四）
 - o. 『太平廣記』（中華書局、一九六一）
 - p. 『集神州三寶感通錄』（『大正藏』第五十二卷）
 - q. 『辯正論』（『大正藏』第五十二卷）

『法苑珠林』の総合的研究

										『觀世音應驗記三種』			『太平廣記』			『感通錄』		『辯正論』		
										百二十卷本系										
號	乾隆(新文館)	冊	通頁/段	將氏刊本	校注	四部叢刊		和刻	種	番號	(三種)		中華書局	卷	冊	通頁/段	典故	卷	頁/段	備考
						冊	通頁/段				譯注	江蘇古籍								
94br	123: 103a	2: 10b	1: 144	8 29: 82ar	4a							112	3	771	冥祥記					
95al	123: 104b	2: 12a	1: 146	8 29: 83ar	6a												3	433c		
12bl	123: 134b	2: 13b	1: 193	10 29: 102bl	2b							325	7	2578	冥報記					
13br	123: 135b	2: 14b	1: 194	10 29: 103br	4a							323	7	2564						
14ar	123: 136b	2: 16a	1: 195	10 29: 104ar	5a							382	8	3043	冥報記					
14al	123: 137a	2: 16b	1: 196	10 29: 104br	6a														7	539b
10bl	123: 181b	3: 32b	1: 255	12 29: 133al	15b							377	8	2996	冥祥記			7	538b	太平廣記109(幽冥錄)
12al	123: 183b	3: 35a	1: 258	12 29: 134bl	18b							323	8	3040	冥祥記					
12bl	123: 184b	3: 36b	1: 259	12 29: 135br	20a							382	8	3043	冥報記			7	538b	
13br	123: 331b	5: 8b	2: 453	21 29: 232al	6b											2	413c			
12br	123: 346b	5: 4a	2: 474	21 29: 241al	24b							276	6	2188	冥祥記					太平御覽357
8ar	123: 355b	5: 15b	2: 484	22 29: 247al	7b							99	2	664	冥報記					
12br	123: 379b	6: 1b	2: 518	23 29: 262bl	10b							114	3	791						
2bl	123: 380a	6: 11a	2: 519	23 29: 262bl	10b															
3ar	123: 380b	6: 11b	2: 520	23 29: 263al	11b							114	3	789	冥祥記					
3al	123: 381a	6: 12a	2: 520	23 29: 263br	12a							114	3	790	冥祥記					
5al	123: 400b	6: 20a	2: 547	24 29: 276al	18b											2	418b			
7br	123: 404a	6: 1a	2: 553	24 29: 278al	22b															
7br	123: 404a	6: 1b	2: 554	24 29: 278br	23a															
8ar	123: 405a	6: 2b	2: 554	24 29: 278bl	23b	繫	6	71	23								3	426c		
9ar	123: 406b	6: 4b	2: 558	25 29: 280br	2a	續	1	30	10	110	3	756	冥祥記							
9al	123: 406b	6: 5a	2: 558	25 29: 280bl	2b	繫	56	175	54	110	3	756	冥祥記							
3al	123: 406b	6: 5a	2: 558	25 29: 280bl	2b															
3br	123: 407a	6: 5b	2: 558	25 29: 280bl	2b	繫	8	75	24	110	3	753	法苑珠林							
3br	123: 407a	6: 6a	2: 559	25 29: 281ar	3a	繫	46	152	47	110	3	753	法苑珠林							
3bl	123: 407b	6: 6a	2: 559	25 29: 281al	3b							110	3	754	辯正論					
4ar	123: 408a	6: 6b	2: 560	25 29: 281br	4a	繫	61	187	58	110	3	752	冥祥記					7	537c	
4ar	123: 408a	6: 7a	2: 560	25 29: 281br	4a	繫	45	150	46	110	3	752	冥祥記							
4al	123: 408b	6: 7a	2: 560	25 29: 281br	4b	繫	2/51	65/163	21/51	110	3	756	冥祥記							
4al	123: 408b	6: 7b	2: 561	25 29: 282ar	5a	繫	17	96	30	110	3	755	冥祥記							
br						續	5	41	13	110	3	754	法苑珠林							
bl	123: 409a	6: 8a	2: 561	25 29: 282ar	5a							110	3	757	冥祥記					
bl	123: 409a	6: 8a	2: 561	25 29: 282al	5b	繫	43	147	45	110	3	755	冥祥記							
bl	123: 409a	6: 8b	2: 562	25 29: 282al	5b	光	4	16	5	110	3	749	真傳拾遺、明鈔本作出冥祥記							
al	123: 410a	6: 9a	2: 563	25 29: 282bl	6b							110	3	757	冥祥記					
bl	123: 410b	6: 10a	2: 563	25 29: 283ar	7a															法苑珠林14(21)
ar	123: 428a	7: 4b	2: 589	26 29: 294bl	7b															
al	123: 428b	7: 5a	2: 590	26 29: 295ar	8a							113	3	782	冥祥記					
al	123: 429b	7: 5b	2: 590	26 29: 295br	9a							112	3	772	冥祥記					
al	123: 430b	7: 7a	2: 592	26 29: 296ar	10a							110	3	750	冥祥記					
al	123: 431a	7: 7b	2: 592	26 29: 296br	11a							113	3	783	法苑珠林					
al	123: 432b	7: 10a	2: 595	26 29: 297br	13a															
ar	123: 433a	7: 10b	2: 595	26 29: 297bl	13b							116	3	806	冥祥記					
ar	123: 461a	7: 21a	2: 631	27 29: 316ar	21a											3	433a			
ar	123: 461a	7: 21b	2: 631	27 29: 316al	21b	繫	59	180	55							3	433b			
al	123: 461b	7: 22a	2: 632	27 29: 316br	22a											3	433b			
ar	123: 461b	7: 22b	2: 632	27 29: 316br	22a															
al	123: 462a	7: 23a	2: 633	27 29: 317ar	23a											3	434a			
ar	123: 462b	7: 23b	2: 633	27 29: 316al	23b											3	433c			
ar	123: 497a	8: 16b	2: 679	29 29: 339bl	16b							326	7	2585	冥祥記					
l	123: 531a	8: 23a	2: 722	31 29: 363al	17b															
l	123: 531b	8: 23b	2: 723	31 29: 363br	18a															
r	123: 547a	8: 20a	2: 744	32 29: 373bl	8b	光	1	3	2	110	3	751	辯正論			1	410c	6	537c	
l	123: 547b	8: 20b	2: 745	32 29: 374al	9b	繫	57	177	54	110	3	759	法苑珠林							
r	123: 548a	8: 21a	2: 746	32 29: 374br	10a	繫	23	110	35	110	3	759	法苑珠林							
r	123: 570a	9: 20b	2: 778	33 29: 388br	17a							114	3	789	法苑珠林					
r	123: 605b	9: 14b	2: 822	35 29: 411bl	14b							387	8	3085	獨異記					太平廣記389(出世說新語)

真宗総合研究所研究紀要 第25号

「冥祥記」諸本収録頁一覧表（「法苑珠林」出現順）※「法苑珠林」道光七年常熟高麗國蔣氏刊本について（稻垣淳史）別表

箇所(人物)	「冥祥記」			「法苑珠林」										百卷本系									
	香號	古小説 鈎沈 頁	古典文學 大系 頁	冥祥記 研究 頁	鈎沈所収 出現順	冥祥記 通順	所在(篇名等の表記は「法苑珠林校注」に基づく)			番	最小部	卷	大正53 頁/段	高麗39 頁/段	中華(北京中華書局) 冊/頁/段/底本	碩砂(新文豐) 冊/頁/段	武蔵國四門碑 冊/通頁/段	正化藏28 冊/業					
史世光	21	390	313	102	1	1	4	六道篇	1	諸天部	感應緣	5	303c	267c	71	232a	廣勝寺	31	704b1	174	39b1	4	30b
倫氏二女	83	430	354	189	2	2	4	六道篇	1	諸天部	感應緣	5	304a	268b	71	232c	廣勝寺	31	7043a	174	41br	4	31a
司馬文宣	80	427	351	184	3	3	4	六道篇	4	鬼神部	感應緣	6	314b	282c	71	253b	高麗	31	714a1	174	77a1	4	39b
王胡	101	440	364	212	4	4	4	六道篇	4	鬼神部	感應緣	6	314c	283b	71	254a	高麗	31	714b1	174	78br	4	40a
李旦	76	425	350	180	5	5	4	六道篇	4	鬼神部	感應緣	6	315a	283c	71	254b	高麗	31	714c1	174	79b1	4	40b
鄭鮮之	77	426	350	181	6	6	4	六道篇	4	鬼神部	感應緣	6	315b	284a	71	254c	高麗	31	714c4	174	80br	4	40b
趙泰	4	377	300	76	7	7	4	六道篇	6	地獄部	感應緣	7	330b	306c	71	283c	廣勝寺	31	729a4	174	135br	4	53b
支法衡	5	379	302	81	8	8	4	六道篇	6	地獄部	感應緣	7	331b	308a	71	285a	廣勝寺	31	730a1	174	138br	4	54b
石長和	58	413	338	153	9	9	4	六道篇	6	地獄部	感應緣	7	331c	308b	71	285b	廣勝寺	31	730a5	174	139br	4	54b
淡明帝	1	375	298	71	10	10	6	教佛篇	3	觀佛部	感應緣	13	383b	384c	71	394a	高麗	31	778c1	174	326b1	5	100
何敬叔	113	446	371	229	11	11	6	教佛篇	3	觀佛部	感應緣	14	388b	392b	71	406b	廣勝寺	31	783b1	174	345a1	5	104
李大安					J1	12	6	教佛篇	3	觀佛部	感應緣	14	391c	397b	71	411b	廣勝寺	31	786b2	174	356b1	5	107
葛濟之	88	432	357	196	12	13	6	教佛篇	4	彌陀部	感應緣	15	399c	410a	71	430a	廣勝寺	31	794a5	174	387br	5	114
尼慧木	89	433	357	197	13	14	6	教佛篇	4	彌陀部	感應緣	15	400a	410a	71	430a	廣勝寺	31	794b2	174	388ar	5	114
魏世子	71	423	347	175	14	15	6	教佛篇	4	彌陀部	感應緣	15	400b	410b	71	430b	廣勝寺	31	794c1	174	389ar	5	115
何曇遠(曇遠)	81	429	353	187	15	16	6	教佛篇	4	彌陀部	感應緣	15	400c	410c	71	430c	廣勝寺	31	794c2	174	389a1	5	115
尼慧玉	111	445	370	215	16	17	6	教佛篇	5	彌陀部	感應緣	16	407b	420c	71	444a	高麗	31	801a2	174	413b1	5	121
路昭太后	107	443	368	219	17	18	6	教佛篇	6	普賢部	感應緣	17	408c	422c	71	449b	廣勝寺	31	802b1	174	419ar	5	122
道温	108	443	368	220	18	19	6	教佛篇	6	普賢部	感應緣	17	408c	422c	71	449b	廣勝寺	31	802b3	174	419br	5	122
道固(道環)[宋]	75	425	349	178	19	20	6	教佛篇	6	普賢部	感應緣	17	408c	423a	71	449c	廣勝寺	32	802c1	174	420a1	5	122
徐養	60	415	340	157	20	21	6	教佛篇	7	觀音部	感應緣	17	409b	423c	71	450b	廣勝寺	31	803a3	174	422ar	5	123
畢覺	61	416	340	157	21	22	6	教佛篇	7	觀音部	感應緣	17	409b	424a	71	450c	廣勝寺	31	803a4	174	422a1	5	123
竺法義							6	教佛篇	7	觀音部	感應緣	17	409c	424a	71	450c	廣勝寺	31	803a5	174	422br	5	123
竺法純	46	409	333	141	22	23	6	教佛篇	7	觀音部	感應緣	17	409c	424a	71	450c	廣勝寺	31	803a5	174	422br	5	123
閻連	47	409	333	141	23	24	6	教佛篇	7	觀音部	感應緣	17	409c	424b	71	451a	廣勝寺	31	803b2	174	423ar	5	123
郭宜之	53	411	335	146	24	25	6	教佛篇	7	觀音部	感應緣	17	409c	424b	71	451a	廣勝寺	31	803b3	174	423a1	5	123
潘道秀	48	409	334	142	25	26	6	教佛篇	7	觀音部	感應緣	17	410a	424c	71	451b	廣勝寺	31	803b5	174	423b1	5	123
樓荀(樂荀)	49	410	334	143	26	27	6	教佛篇	7	觀音部	感應緣	17	410a	424c	71	451b	廣勝寺	31	803c1	174	424ar	5	123
法智	50	410	334	143	27	28	6	教佛篇	7	觀音部	感應緣	17	410a	424c	71	451b	廣勝寺	31	803c2	174	424a1	5	123
南公子歎(南宮子歎)	51	410	335	144	28	29	6	教佛篇	7	觀音部	感應緣	17	410a	425a	71	451c	廣勝寺	31	803c3	174	424br	5	123
道泰							6	教佛篇	7	觀音部	感應緣	17	410b	425a	71	451c	廣勝寺	31	803c4	174	424b1	5	123
孫道徳	69	422	347	173	29	30	6	教佛篇	7	觀音部	感應緣	17	410b	425b	71	452a	廣勝寺	31	803c5	174	425ar	5	123
劉度	52	411	335	145	30	31	6	教佛篇	7	觀音部	感應緣	17	410c	425b	71	452a	廣勝寺	31	804a1	174	425a1	5	123
賈傳	27	395	319	112	31	32	6	教佛篇	7	觀音部	感應緣	17	410c	425b	71	452a	廣勝寺	31	804a2	174	425br	5	123
張興	72	423	348	176	32	33	6	教佛篇	7	觀音部	感應緣	17	410c	426a	71	452c	廣勝寺	31	804b2	174	426b1	5	123
自序(王琰)	0	373	297	67	33	34	6	教佛篇	7	觀音部	感應緣	17	411a	426a	71	452c	廣勝寺	31	804b4	174	427a1	5	123
丁承	36	401	325	72	34	35	7	教法篇		感應緣	18	417a	435a	71	467c	高麗	31	810a4	174	450ar	5	123	
周閔	20	389	312	100	35	36	7	教法篇		感應緣	18	417b	435b	71	468a	高麗	31	810b2	174	450b1	5	123	
董吉	23	392	315	106	36	37	7	教法篇		感應緣	18	417b	435c	71	468b	高麗	31	810b4	174	451a1	5	123	
周瑄	24	393	316	108	37	38	7	教法篇		感應緣	18	417c	436a	71	468c	高麗	31	810c4	174	452br	5	123	
謝敬	35	400	324	124	38	39	7	教法篇		感應緣	18	418a	436b	71	469a	高麗	31	811a2	174	453a1	5	123	
慧嚴	120	452	377	241	39	40	7	教法篇		感應緣	18	418c	437b	71	470a	高麗	31	811b5	174	455a1	5	123	
尼智通	82	429	354	188	40	41	7	教法篇		感應緣	18	418c	437c	71	470b	高麗	31	811c2	174	455b1	5	123	
廬山七嶺	39	402	326	127	41	42	8	教僧篇		感應緣	19	428b	452a	71	490a	高麗	31	820c1	174	490b1	5	123	
僧朗	40	402	327	127	42	43	8	教僧篇		感應緣	19	428b	452a	71	490a	高麗	31	820c2	174	491ar	5	123	
法相	41	403	327	128	43	44	8	教僧篇		感應緣	19	428c	452b	71	490b	高麗	31	820c3	174	491a1	5	123	
法安	55	412	336	148	44	45	8	教僧篇		感應緣	19	428c	452b	71	490b	高麗	31	820c5	174	491b1	5	123	
黃蘗(慧遠)							8	教僧篇		感應緣	19	428c	452c	71	490c	高麗	31	821a2	174	492a1	5	123	
慧全	100	439	364	210	45	46	8	教僧篇		感應緣	19	429a	453a	71	491a	高麗	31	821a4	174	492b1	5	123	
袁炳	114	446	371	231	46	47	10	歸信篇		感應緣	21	441a	470c	71	515a	高麗	31	832c2	174	536ar	5	123	
尼曇輝	98	438	363	208	47	48	13	入道篇		感應緣	22	453a	488c	71	537b	廣勝寺	31	843c4	174	578b1	5	123	
趙賢	99	439	363	210	48	49	13	入道篇		感應緣	22	453b	488c	71	537b	廣勝寺	31	844a1	174	579a1	5	123	
竺長舒(法苑珠林)	12	385	308	92	49	50	15	獎導篇		感應緣	23	459a	497a	71	550a	廣勝寺	31	849a5	175	19a1	5	123	
邢懷明	92	435	360	202	50	51	15	獎導篇		感應緣	23	459b	497b	71	550b	廣勝寺	31	849b2	175	19b1	5	123	
王球	84	430	354	191	51	52	15	獎導篇		感應緣	23	459b	497c	71	550c	廣勝寺	31	849b5	175	20br	5	123	
費崇先	112	445	370	226	52	53	16	說聽篇		感應緣	24	467a	508a	71	565c	高麗	31	856b3	175	48ar	5	123	
辛結	2	375	298	73	53	54	18	宿命篇		感應緣	26	479b	526c	71	591c	廣勝寺	31	868a1	175	93br	5	123	

真宗総合研究所研究紀要 第25号

『冥祥記』諸本収録頁一覧表(『法苑珠林』出現順) ※『法苑珠林』道光七年常熟燕園蔣氏刊本について(稻垣淳史)別表

箇所(人物)	『冥祥記』			『法苑珠林』										百卷本系											
	番號	古小説 鈎沈	古典文學 大系	冥祥記 研究	鈎沈所収 出現順	冥祥記 通順	所在(篇名等の表記は『法苑珠林校注』に基づく)			番	最小部	卷	大正53 頁/段	高麗39 頁/段	中華(北京中華書局) 冊/頁/段/底本	積砂(新文館) 冊/頁/段	武蔵四國堂 冊/通頁/段	正正藏28 冊/業							
王棟	68	422	346	172	54	55	18	宿命篇				26	479c	527a	71	592a	廣勝寺	31	868a4	175	94a1	5	182f		
向辯女	57	413	338	151	55	56	18	宿命篇				26	479c	527b	71	592b	廣勝寺	31	868a5	175	94br	5	182f		
伏萬壽	95	437	361	205	56	57	19	至誠篇				27	484b	534a	71	602b	廣勝寺	31	872b1	175	111a1	6	187c		
顧邁	96	437	362	206	57	58	19	至誠篇				27	484b	534a	71	602b	廣勝寺	31	872b2	175	111br	6	187c		
慧和	105	442	367	225	58	59	19	至誠篇				27	484b	534a	71	602b	廣勝寺	31	872b3	175	111bl	6	187c		
韓徽	119	452	376	240	59	60	19	至誠篇				27	484c	534b	71	602c	廣勝寺	31	872b5	175	112a1	6	187c		
彭子喬	122	453	378	243	60	61	19	至誠篇				27	484c	534c	71	603a	廣勝寺	31	872c2	175	112bl	6	187c		
單道開	59	415	339	151	61	62	19	至誠篇				27	485a	534c	71	603a	廣勝寺	31	872c4	175	113a1	6	187f		
仕行	3	376	299	75	62	63	20	神異篇				28	491a	544a	71	617a	高麗	31	878c4	175	136br	6	192f		
考城	7	381	304	84	63	64	20	神異篇				28	491b	544b	71	617b	高麗	31	879a2	175	137a1	6	193c		
佛調	8	383	306	87	64	65	20	神異篇				28	491c	545a	71	618a	高麗	31	879b4	175	139ar	6	193c		
健陀勒	9	384	307	89	65	66	20	神異篇				28	492a	545b	71	618b	高麗	31	879c2	175	139bl	6	193f		
抵世常	10	384	307	90	66	67	20	神異篇				28	492a	545c	71	618c	高麗	31	879a2	175	140a1	6	193f		
程德遠	93	436	360	203	67	68	20	神異篇				28	492b	546a	71	619a	高麗	31	880a1	175	140bl	6	193f		
陳秀遠	116	448	373	234	68	69	26	眼夢篇				32	536b	610a	71	705a	廣勝寺	32	20b2	175	295ar	6	230		
馬康伯	86	431	356	194	69	70	26	眼夢篇				32	536c	610b	71	705b	廣勝寺	32	20c2	175	296a1	6	230		
桓暹	28	396	320	115	70	71	27	輿福篇				33	545a	623a	71	724a	高麗	32	28b3	175	326br	6	237		
王娘之妻譚氏	37	401	325	125	71	72	27	輿福篇				33	545b	623a	71	724a	高麗	32	28b4	175	326bl	6	237		
劉深之	94	436	361	204	72	73	32	輿福篇				36	569a	658b	71	774b	廣勝寺	32	50b1	175	410br	6	257		
何充	15	387	310	95	73	74	39	受請篇				42	616a	727c	71	871c	高麗	32	92c4	175	576ar	7	298		
尼竺道容	16	387	310	96	74	75	39	受請篇				42	616b	727c	71	871c	高麗	32	93a1	175	576br	7	298		
關公期	17	388	311	97	75	76	39	受請篇				42	616b	728a	71	872a	高麗	32	93a2	175	576bl	7	298		
勝普	18	388	311	98	76	77	39	受請篇				42	616c	728b	71	872b	高麗	32	93a5	175	577bl	7	299		
竺法進	19	389	312	99	77	78	39	受請篇				42	616c	728b	71	872b	高麗	32	93b1	175	577bl	7	299		
仇那跋摩	63	416	341	159	78	79	39	受請篇				42	616c	728c	71	872c	高麗	32	93b3	175	578a1	7	299		
周宣帝子文貴					J2	80	44	思慎篇				46	640a	762c	71	920a	廣勝寺	32	115a1	176	83a1	7	299		
杜頌	33	399	323	122	79	81	56	眷屬篇				52	677b	817b	72	18c	高麗	32	149b5	176	219br	7	35f		
董青建	123	454	378	244	80	82	56	眷屬篇				52	677b	817b	72	18c	高麗	32	149c2	176	220ar	7	35f		
袁那	118	450	375	237	81	83	56	眷屬篇				52	678a	818b	72	19c	高麗	32	150a4	176	221bl	7	35f		
卞悅之	102	441	366	214	82	84	56	眷屬篇				52	678b	819a	72	20b	高麗	32	150b5	176	223a1	7	35f		
程道惠	44	404	329	132	83	85	62	邪郭篇				6	捨邪郭	55	709a	863c3	72	78b	廣勝寺	32	178b4	176	332ar	7	37
李恆(李常)	26	395	318	111	84	86	63	富貴篇				56	712c	869b	72	92b	高麗	32	182b1	176	347ar	8	38		
張應	22	391	314	104	85	87	69	祭祀篇				62	756b	934a	72	180c	高麗	32	222b5	176	504a1	8	41		
陳安居	64	417	341	162	86	88	69	祭祀篇				62	756c	935a	72	181a	高麗	32	222c4	176	505a1	8	41		
齊僧欽	70	423	347	174	87	89	69	祭祀篇				62	757c	936b	72	182b	高麗	32	223c2	176	508a1	8	42		
劉船	85	431	355	192	88	90	70	占相篇				62	760c	940c	72	186c	高麗	32	226a2	176	517a1	8	42		
竺曇蓋	56	412	337	149	89	91	71	祈雨篇				63	764b	946a	72	198b	高麗	32	229c2	176	532a1	8	42		
僧草	6	381	303	83	90	92	71	祈雨篇				63	764c	946b	72	198c	高麗	32	229c3	176	532br	8	42		
慧遠	13	386	309	93	91	93	71	祈雨篇				63	764c	946b	72	198c	高麗	32	229c5	176	533ar	8	42		
于法蘭・竺法護	14	386	309	94	92	94	71	祈雨篇				63	764c	946c	72	199a	高麗	32	230a2	176	533br	8	42		
僧瑜	90	434	358	199	93	95	72	因果篇				63	770a	954b	72	206c	高麗	32	234c3	176	551a1	8	42		
阮稚宗	91	434	359	201	94	96	73	漁獵篇				64	772b	957c	72	215c	高麗	32	237a2	176	560br	8	42		
道問(秦)	97	437	362	207	95	97	76	救厄篇				65	784c	976a	72	238b	高麗	32	248b1	177	17ar	8	42		
呂諫	30	398	322	118	96	98	76	救厄篇				65	785b	976b	72	238c	高麗	32	248b4	177	17bl	8	42		
徐榮	31	398	322	118	97	99	76	救厄篇				65	785a	976c	72	239a	高麗	32	248b5	177	18ar	8	42		
張崇	42	403	327	130	98	100	76	救厄篇				65	785b	976c	72	239a	高麗	32	248c3	177	18bl	8	42		
王慈	43	404	328	131	99	101	76	救厄篇				65	785b	977a	72	239b	高麗	32	248c5	177	19a1	8	42		
竺惠慶	87	432	356	195	100	102	76	救厄篇				65	785c	977c	72	240a	高麗	32	249b1	177	20bl	8	42		
曇無竭	73	424	348	174	101	103	76	救厄篇				65	786a	977c	72	240a	高麗	32	249b2	177	21ar	8	42		
支道	38	402	326	126	102	104	82	四生篇				72	833c	1046a	72	355a	廣勝寺	32	292c4	177	186a1	9	42		
王奂(王奂仕)					J3	105	84	十惡篇	6	邪郭部	感應緣	75	852a	1073a	72	373c	高麗	32	309c3	177	253br	9	5		
楊節操					J4	106	84	十惡篇	8	惡口部	感應緣	76	857a	1080b	72	385c	高麗	32	314b4	177	271bl	9	5		
張善					J5	107	84	十惡篇	11	瞋貪部	感應緣	77	866b	1093b	72	402b	高麗	32	322a1	177	304ar	9	5		
姓弘忘名					J6	108	84	十惡篇	12	瞋志部	感應緣	78	869c	1098a	72	410b	廣勝寺	32	325b4	177	315br	9	5		
朱貞					J7	109	84	十惡篇	12	瞋志部	感應緣	78	869c	1098b	72	410c	廣勝寺	32	325c1	177	316ar	9	5		
樂童舞					J8	110	84	十惡篇	12	瞋志部	感應緣	78	870a	1098c	72	411a	廣勝寺	32	325c4	177	316bl	9	5		
杜巖(杜巖)					J9	111	84	十惡篇	12	瞋志部	感應緣	78	870a	1098c	72	411a	廣勝寺	32	326a1	177	317a1	9	5		

真宗総合研究所研究紀要 第25号

『冥祥記』諸本収録頁一覧表（『法苑珠林』出現順）※『法苑珠林』道光七年常熟熱齋蔣氏刊本について（稻垣淳史）別表

箇所(人物)	『冥祥記』			『法苑珠林』										百卷本系												
	番號	古小説	古典文學	冥祥記研究	所在(篇名等の表記は『法苑珠林校注』に基づく)										卷	大正53	高麗39	中華(北京中華書局)	積砂(新文堂)	武蔵(四庫全書)	巴正藏28					
		鈎沈	大系		鈎沈所収	冥祥記	篇番	大篇	部番	中部	小部	番	最小部	頁/段								頁/段	冊	頁/段	冊	頁/段
羊道生					J10	112	84	十惡篇	12	願志部					78	870a	1099a	72	411b	廣勝寺	32	326a2	177	317br	9	516
張學					J11	113	84	十惡篇	12	願志部					78	870b	1099a	72	411b	廣勝寺	32	326a4	177	318ar	9	516
周文帝宇文泰					J12	114	84	十惡篇	12	願志部					78	870b	1099b	72	411c	廣勝寺	32	326a5	177	318bl	9	516
虞陟					J13	115	84	十惡篇	12	願志部					78	870c	1099c	72	412a	廣勝寺	32	326b3	177	319ar	9	516
庾季孫					J14	116	84	十惡篇	12	願志部					78	870c	1099c	72	412a	廣勝寺	32	326b5	177	319br	9	516
張衡					J15	117	84	十惡篇	12	願志部					78	870c	1100a	72	412b	廣勝寺	32	326c1	177	319bl	9	516
裴植					J16	118	84	十惡篇	12	願志部					78	871a	1100a	72	412b	廣勝寺	32	326c2	177	320ar	9	516
沈僧覆	110	445	369	224	103	119	84	十惡篇	13	邪見部					79	874b	1105a	72	420c	高麗	32	320a2	177	333br	9	519
道志	115	447	372	232	104	120	84	十惡篇	13	邪見部					79	874c	1105b	72	421a	高麗	32	320a3	177	333bl	9	519
唐文伯	74	424	348	178	105	121	84	十惡篇	13	邪見部					79	874c	1105c	72	421b	高麗	32	330b2	177	334bl	9	520
周宗	78	426	351	182	106	122	84	十惡篇	13	邪見部					79	875a	1105c	72	421b	高麗	32	330b3	177	335ar	9	520
王淮之	104	441	366	216	107	123	84	十惡篇	13	邪見部					79	875a	1106a	72	421c	高麗	32	330b4	177	335al	9	520
僧規	65	420	344	167	108	124	85	六度篇	4	精進部					83	900b	1142b	72	469b	高麗	32	353b2	177	424bl	9	541
何豫之	66	421	345	170	109	125	85	六度篇	4	精進部					83	901a	1143a	72	470a	高麗	32	353c3	177	426al	9	541
慧達	45	406	330	135	110	126	86	觀海篇							86	919b	1170b	72	508a	高麗	32	370c4	177	493al	9	557
智達	117	449	373	235	111	127	88	戒戒篇							90	953a	1219c	72	576a	廣勝寺	32	401b2	178	22al	10	586
曇興	103	441	366	215	112	128	88	戒戒篇							90	953c	1220c	72	577a	廣勝寺	32	401c4	178	23ar	10	586
郭詮(郭詮)	79	427	351	183	113	129	89	受齋篇							91	956a	1224a	72	584c	高麗	32	404c1	178	33al	10	588
孫惟	25	394	317	109	114	130	90	破齋篇							91	958a	1227b	72	588a	高麗	32	406c2	178	41ar	10	59c
王四娘	124	456	380	247	115	131	90	破齋篇							91	958b	1227c	72	588b	高麗	32	407a1	178	42ar	10	59c
黃子融					J17	132	91	賞罰篇							91	962c	1233c	72	594b	高麗	32	410c1	178	55bl	10	59c
齊文帝高洋					J18	133	91	賞罰篇							91	962c	1234a	72	594c	高麗	32	410c2	178	56ar	10	59c
劉不得字					J19	134	91	賞罰篇							91	962c	1234a	72	594c	高麗	32	410c4	178	56br	10	59c
陳武帝陳霸先					J20	135	91	賞罰篇							91	963a	1234b	72	595a	高麗	32	410c5	178	56bl	10	59c
庾紹之	54	411	336	146	116	136	93	酒肉篇							94	978a	1256a	72	631a	廣勝寺	32	424b2	178	111br	10	60
蔣小德	109	444	369	223	117	137	93	酒肉篇							94	978b	1256a	72	631a	廣勝寺	32	424b5	178	112al	10	60
竺慧慈	67	421	346	171	118	138	93	酒肉篇							94	978b	1256b	72	631b	廣勝寺	32	424c3	178	113al	10	60
唐法朗	11	385	308	91	119	139	95	病苦篇							95	988a	1270b	72	650c	廣勝寺	32	433b1	178	146br	10	61
竺法義(竺法護)	32	398	322	120	120	140	95	病苦篇							95	988b	1270c	72	651a	廣勝寺	32	433b5	178	147br	10	61
羅頌安費氏	121	453	377	242	121	141	95	病苦篇							95	988b	1271a	72	651b	廣勝寺	32	433c2	178	148ar	10	61
李洁	29	396	320	115	122	142	95	病苦篇							95	988c	1271b	72	651c	廣勝寺	32	433c5	178	148bl	10	61
慧進	125	456	381	249	123	143	95	病苦篇							95	989a	1272a	72	652b	廣勝寺	32	434b3	178	150bl	10	61
唐遵	34	399	323	123	124	144	97	送終篇							97	1003a	1290b	72	679c	高麗	32	446b1	178	197br	10	62
黃遷(慧遠)	106	442	367	217	125	145	97	送終篇							97	1003c	1291b	72	680c	高麗	32	447a1	178	200ar	10	62
法稱	62	416	340	158																						
安法開	126	457	381	250																						
元嘉八年	127	457	381																							
竺長舒(辯正論)	128	457	381																							
僧洪	129	457	382	151																						
史俊(史儒)	130	458	382	250																						
陳玄範妻張氏	131	458	382	251																						
孫敬德																										
薛孤圓																										
揚州縣令																										
明相寺																										
周珍奴																										
孫卿瑛																										
趙文若																										
謝弘敬妻																										
簡文帝				120																						
僧妙								227																		